甲府河川国道事務所
～ 平成２１年度 事業概要 ～

記 者 発 表 資 料

河川事業 平成２１年度は**約２８．８億円**で河川事業を推進します。

～ 富士川の河川改修及び環境整備事業を実施します ～

《平成２１年度 完成２事業、継続２事業》

- 増穂町増穂地区の河川防災ステーションの盛土工事を推進します。（継続）
- 身延町大野地区の改修事業を推進します。（継続）
- 増穂町増穂地区の環境整備事業を推進します。（完成）
- 富士宮市沼久保地区の環境整備事業を推進します。（完成）

道路事業 平成２１年度は**約１３３．５億円**で道路事業を推進します。

～ 中部横断自動車道で工事を全面展開します ～

《【活力】活力ある地域づくりと美しい国土づくり》

- 中部横断自動車道の工事、調査設計、用地買収を推進します。（継続）
- 大月バイパス、竜王拡幅、上石田改良及び都留バイパスで工事、調査設計、用地買収を推進します。（継続）
- 新山梨環状道路の調査設計を推進します。（継続）

《【安全】安全に安心して暮らせる地域の実現》

- 事故対策の緊急性の高い交差点から重点的に実施します。（継続）
- 緊急輸送道路の橋梁の耐震補強や橋梁補修を推進します。（継続）
- 法面崩落対策や落石対策などの防災対策を推進します。（継続）
- 通学路への歩道設置を推進します。（継続）

《【暮らし】生き生きとした暮らしの実現》

- 甲府市丸の内周辺地区の自転車道の整備を推進します。（完成）
- 笛吹甲府電線共同溝などの工事を推進します。（継続）

50th S34災害 あれから５０年 あの日を忘れない

平成２１年４月１５日
国土交通省関東地方整備局
甲 府 河 川 国 道 事 務 所

同時発表記者クラブ
竹芝記者クラブ、神奈川県建設記者会 山梨県政記者クラブ、静岡県政記者クラブ、横浜海事記者クラブ

問い合わせ先

甲府河川国道事務所（TEL 055-252-5491）

（河　　川）	地域広報官	堀口 智	TEL055-252-5491(090-3006-2882)
（河川担当）	**工務第一課長**	**植松 福一**	**TEL055-252-8880(090-4625-3771)**
（道　　路）	地域広報官	上原 重賢	TEL055-254-5491(090-3231-7947)
（道路担当）	**工務第二課長**	**小池 信一**	**TEL055-252-8882(090-3086-2386)**

平成２１年度の予算の概要（河川事業）

本年は、富士川上流域に大被害をもたらした「昭和 34 年災害」から 50 年目の節目の年にあたります。

甲府河川国道事務所ではこの災害を風化させることなく後世に伝え、更なる流域の安全・安心のために事業を推進します。

50th S34災害 あれから５０年 あの日を忘れない

Ⅰ．平成２１年度予算　　（単位：百万円）

	平成２１年度
河川事業	2,880

Ⅱ．Ｈ２１年度予算のポイント

■河川事業（詳細はｐ３～）

１．基本方針

・近年頻発している集中豪雨等を踏まえ、護岸整備などの治水対策を推進します。
・災害時に迅速な活動を可能にするための防災拠点を計画的に整備していきます。
・さらに、ハザードマップ作成の支援等、防災・減災対策を進め、安全安心に暮らせる地域の実現を図ります。
・また、地域との連携による、快適で良好な水辺環境の創出等を推進します。

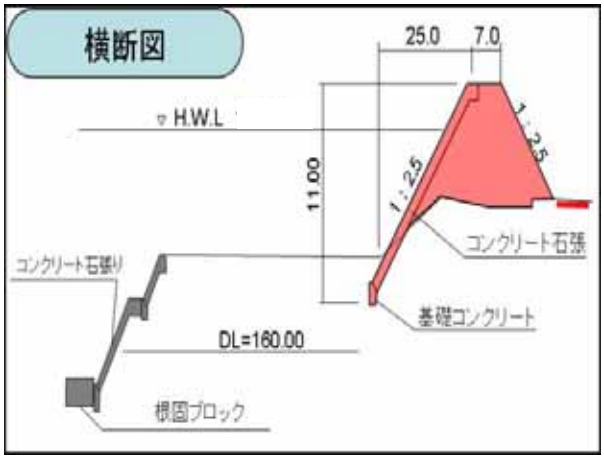
２．主要事業・施策の概要

重点的に実施する施策は次の２つです。

①安心して住める県土の実現
②よりよい生活環境の確保

ポイント①：安心して住める県土の実現

1）無堤部であり、流下能力が不足している身延町大野地区周辺の改修を促進するため、築堤護岸を継続実施します。



2）洪水時における水防活動や、破堤等の重大災害が発生した場合の復旧活動、また地震時等の復興支援の拠点となる増穂地区河川防災ステーションの用地買収・盛土工事を継続実施します。

復旧活動イメージ図

ポイント②：よりよい生活環境の確保

１）増穂町青柳地区で、増穂町の「水辺プラザ」事業と連携し、階段護岸、散策路を環境整備事業として継続実施し、概ね完成します。（同町との連携事業）

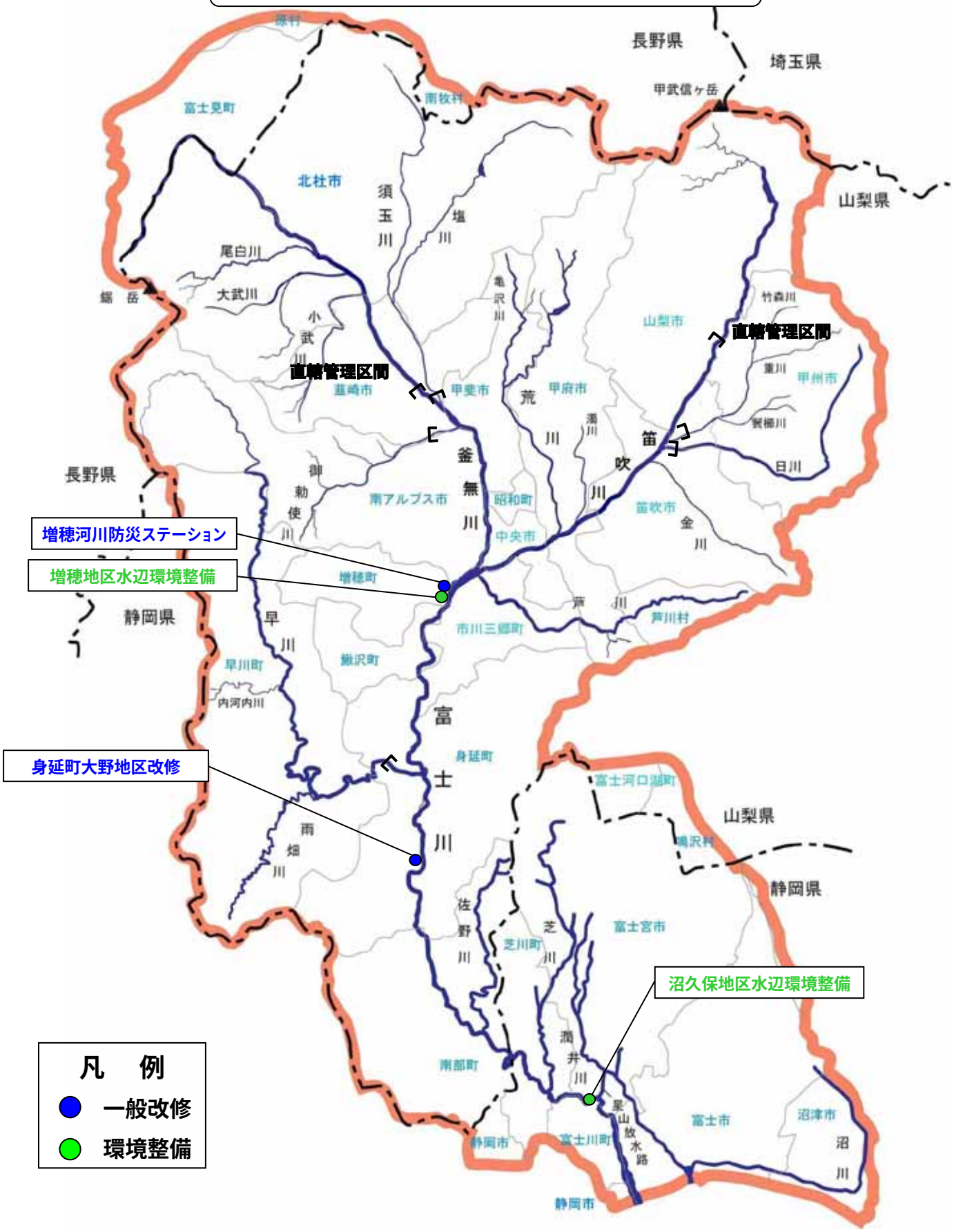
整備イメージ図

２）富士宮市沼久保地区で、富士宮市の「水辺の楽校」事業と連携し、水路工、看板設置等を環境整備事業として継続実施し、概ね完成します。（同市との連携事業）

平成２０年度　散策路等整備状況

富士宮市　「富士山学校」活動状況

平成21年度　河川事業概要



事 業 費 総 括 表

（単位：百万円）

項目	甲府河川国道事務所 （河川事業）
河川改修費	1,030
河川維持修繕費	1,546
総合水系環境整備事業費	304
合計	2,880

【継続】　　＜ポイント①　安心して住める県土の実現＞

増穂地区河川防災ステーション整備

Ｈ２１事業費：２５５百万円

南巨摩郡増穂町

１．事業の必要性及び概要

増穂地区河川防災ステーションは、富士川において堤防の決壊等の重大災害が発生した場合に、水防活動の拠点として整備を行うものです。当該箇所は、中部横断自動車道ICや国道５２号に隣接する交通接点であるため、水防活動時ばかりでなく、地震時の復興支援としても活用できます。また、増穂町の「道の駅」とも連携して整備を進めます。

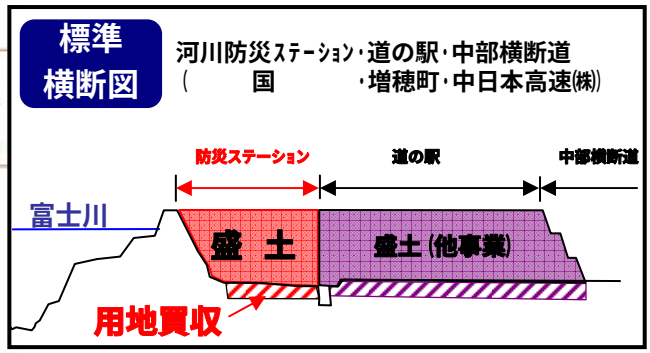
［全体計画］
事業箇所：山梨県南巨摩郡増穂町
事業内容：盛土約１６万m3、水防資機材整備　1式
全体工期：平成１７年度～平成２４年度

２．平成２１年度予定

平成２１年度は、平成２０年度に引き続き、盛土工事を行います。

３．期待される整備効果

効率的かつ迅速な災害対応を行うための備えができます。



【継続】　　＜ポイント①　安心して住める県土の実現＞

身延町大野地区改修工事

Ｈ２１事業費：６１５百万円

南巨摩郡身延町

1．事業の必要性及び概要

同地区には病院等の施設があるものの、山間狭窄部であり、周辺の国道･県道が降雨に伴う雨量規制により、陸の孤島となるため、水防活動等が実施困難になります。

同地区の堤防は、重要水防Aランクで無堤区間になっているため、平成１３年度に事業着手し、浸水被害解消のため築堤護岸等の改修事業を実施します。

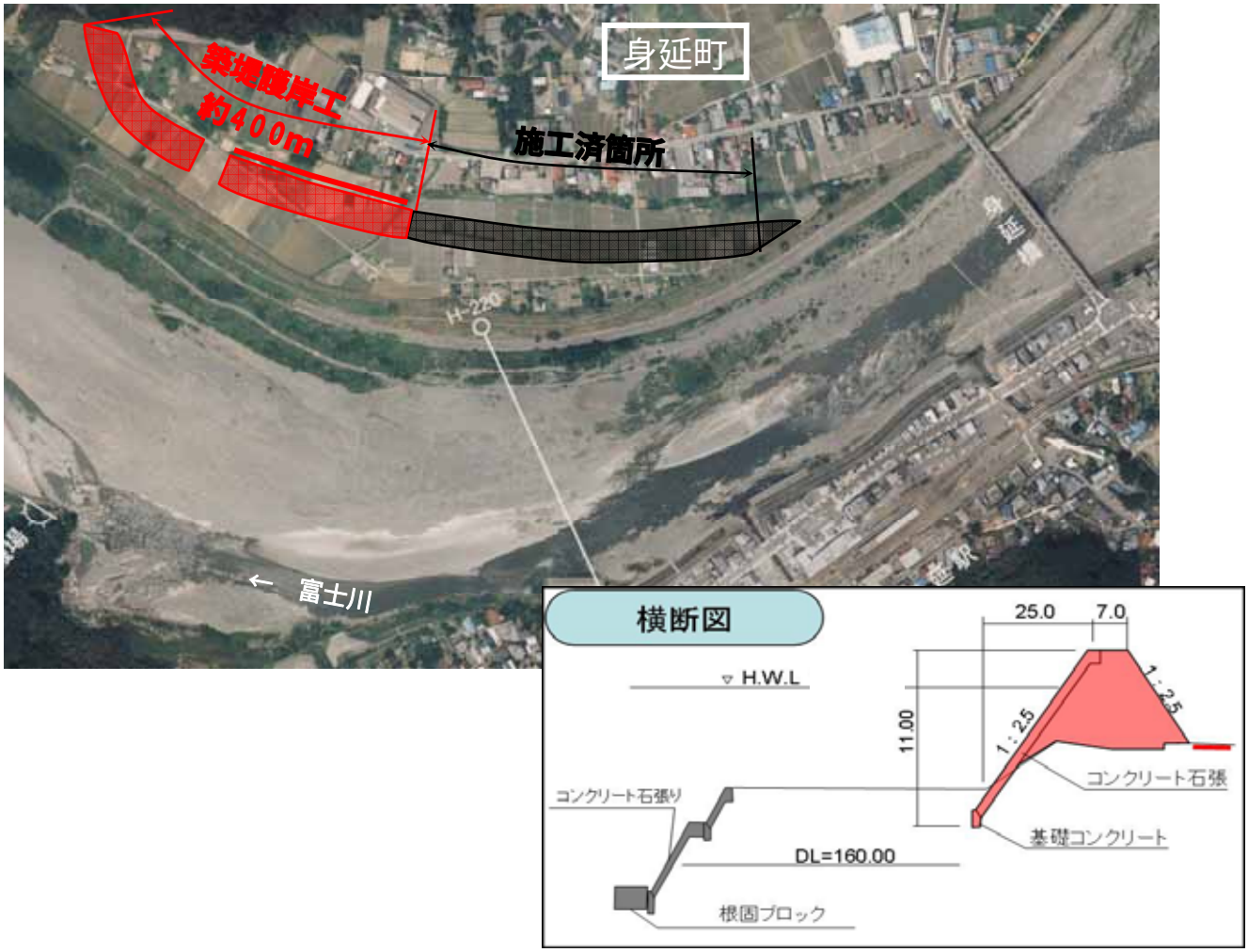
【全体計画】
事業箇所：山梨県南巨摩郡身延町
事業内容：築堤護岸Ｌ＝１，０４０ｍ、樋管１箇所、水路付替Ｌ＝１９０ｍ
全体工期：平成１３年度～平成２６年度（完成）

2．平成２１年度予定

平成２１年度は、築堤護岸工事を実施します。

3．期待される整備効果

無堤部を解消する築堤護岸の実施により、浸水被害の軽減が図られます。



【完成】　　＜ポイント②　よりよい生活環境の確保＞

増穂地区水辺環境整備

（ますほちくみずべかんきょうせいび）

Ｈ２１事業費：２７４百万円

南巨摩郡増穂町（みなみこまぐんますほちょう）

１．事業の必要性及び概要

富士川に隣接する当地区は、かつて江戸時代から昭和初期まで、甲州三河岸の一つ、「青柳河岸」があり、物流の拠点として繁栄していた箇所で、現在では増穂町が中部横断自動車道の増穂IC及び甲西道路の周辺地域の開発を進めており、将来的に新たな交流拠点が創出されるよう整備しています。

堤内側に道の駅、パーキングエリア、河川防災ステーションが計画中であり、周辺地域と富士川河川敷を一体的に利活用する「川の駅」として水辺プラザ整備を行います。

【全体計画】

事業箇所：山梨県増穂町

事業内容：散策路１，０００m、階段護岸　２箇所、水制工　１基、
　　橋梁　１基、スロープ　２箇所　等

全体工期：平成１５年度～平成２１年度

２．平成２１年度予定

平成２１年度は、階段護岸、及び散策路整備等を行います。

３．期待される整備効果

水辺利用の利便性、安全性の向上を図ります。

整備イメージ図

＊整備内容は、今後増穂町と調整する。

施工箇所（散策路）

施工箇所（階段護岸、親水護岸）

階段護岸
整備イメージ

【完成】　　＜ポイント②　よりよい生活環境の確保＞

沼久保地区水辺環境整備

（ぬまくぼちくみずべかんきょうせいび）

Ｈ２１事業費：３０百万円

富士宮市（ふじのみやし）

１．事業の必要性及び概要

当地区は富士川下流部に位置し、岩盤の露出した河床や右岸側の柱状節理、左岸に広大な礫河原や沼が存在する多様かつ良好な河川空間となっています。また、江戸時代から昭和初期にかけ沼久保河岸と呼ばれ富士川舟運の物流基地として栄えた箇所です。

このため地域からも親水利用やレクリエーション、自然学習の利用が望まれており、学習拠点の場として「水辺の楽校」整備を行います。

【全体計画】
事業箇所：静岡県富士宮市
事業内容：散策路１，０００ｍ、案内看板　２基、水路工　２００ｍ、
　　階段護岸　１箇所、基盤整備　１式
全体工期：平成１９年度～平成２１年度

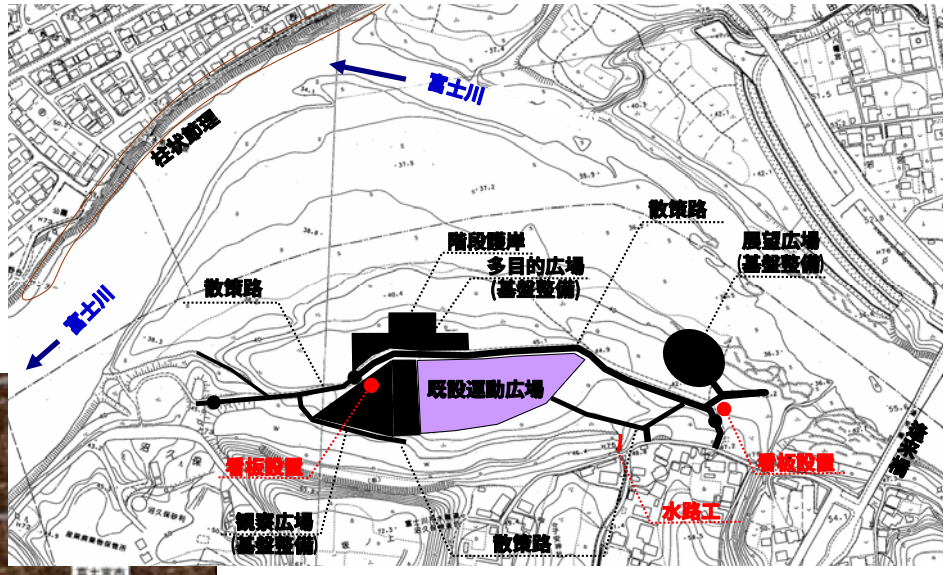
２．平成２１年度予定

平成２１年度は、水路工、看板設置等の整備を行います。

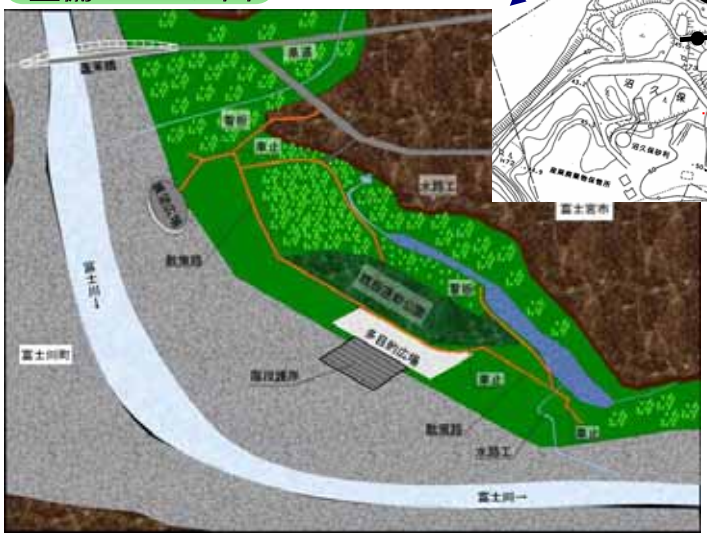
３．期待される整備効果

水辺利用の利便性、安全性の向上を図ります。

整備内容



整備イメージ図



平成２１年度の予算の概要（道路事業）

Ⅰ．平成２１年度予算

平成２１年度の道路事業は約１３３．５億円で推進します。

Ⅱ．平成２１年度予算のポイント

■道路事業

甲府河川国道事務所では、山梨県の国道２０号、５２号、１３８号、１３９号の４路線、延長約２５５ｋｍにおいて、維持修繕、バイパス整備、道路拡幅、沿道環境改善、交通安全対策、電線共同溝整備を進めています。

また、平成１７年度からは新直轄※として中部横断自動車道(富沢～六郷)の整備を進めています。平成２０年度に南部町地区で工事着手し、今年度は身延町地区及び市川三郷町地区においても工事着手し、工事の全面展開をする予定です。

（※）高速道路株式会社による整備や管理が難しいと判断された高速道路について、国土交通省が整備や管理を行うもの。

１．基本方針

・限られた予算で最大限の効果の発現を図る観点から、各事業の目的・成果に踏み込んできめ細かく重点化することにより、機能強化、災害に強く、安全・安心で快適な暮らしなど真に必要な質の高い社会資本を着実に整備していきます。

・予算の執行にあたっては、政府が示した徹底した無駄の削減に則り、厳正なる予算管理を行うとともに、整備状況必要性等、地域の実情、要望等を踏まえつつ、社会資本整備を効率的・効果的に推進するため、地方公共団体と連携を図って参ります。

２．重点的に実施する３つのポイント(施策)

重点項目①　【活力】活力ある地域づくりと美しい国土づくり『山梨県の機能強化のために。』

重点項目②　【安全】安全に安心して暮らせる地域の実現『人々の命と財産を守るために。』

重点項目③　【暮らし】生き生きとした暮らしの実現『暮らしやすさ、住みやすさの追求。』

重点項目①　【活力】活力ある地域づくりと美しい国土づくり
～山梨県の機能強化のために～

　沿線の方々が安心して暮らせるネットワークの構築、物流体系の確立や広域的観光ゾーンの開発・支援するため、幹線ネットワークの整備を推進します。
　また、渋滞の緩和や安全で円滑な交通、歩行者の安全確保、沿道地域の環境改善のため、現道拡幅やバイパスの整備を推進します。

◆主な事業
- 中部横断自動車道（富沢～六郷）
- 新山梨環状道路（北部区間）
- 国道２０号　大月バイパス（大月市）
- 国道２０号　竜王拡幅（甲斐市・韮崎市）
- 国道５２号　上石田改良（甲府市）
- 国道１３９号　都留バイパス（都留市）

○中部横断自動車道の整備
■中部横断自動車道の事業予定

　平成２０年度に南部町地区で工事着手しました。今年度は身延町地区及び市川三郷町地区においても工事着手し、工事の全面展開を行う予定です。

重点項目②　【安全】安全に安心して暮らせる地域の実現
～人々の命と財産を守るために～

（１）交差点改良を推進

交通事故データ等の分析により地域の事故特性や課題を抽出し、パブリックコメント等による地域の皆様のご意見を踏まえつつ要対策箇所を選定・公表し、重点的に対策を推進します。

◆主な事業

・国道２０号　国母（こくぼ）交差点（甲府市）
・国道５２号　竜王（りゅうおう）駅前交差点（甲斐市）
・国道２０号　上岩崎（かみいわさき）・原（はら）交差点（甲州市）
・国道１３９号　天神山（てんじんやま）入口交差点（鳴沢村）　他

（２）構造物等の予防的な対策、長寿命化対策

今後、高齢化する道路ストックが増大することを踏まえ、大規模な修繕が必要となる前に予防的な対策により長寿命化を図り、経済的な道路管理を実施します。

◆橋梁補修、橋梁耐震対策（※）

・国道５２号　万沢（まんざわ）跨道橋耐震補強（南部町）
・国道１３９号　赤池（あかいけ）大橋橋梁補修（富士河口湖町）　他

※平成７年に発生した兵庫県南部地震のような地震が発生しても、損傷が限定的なものにとどまり、橋としての機能の回復が速やかに行える性能を持たせることを指します。

（３）法面崩落対策や落石対策などの防災対策を推進

災害による人命、交通、産業等への被害は社会的経済的影響が極めて大きく、安全な道路交通の確保を図る必要から、法面崩落対策や落石対策などの対策工を推進します。

◆主な事業箇所

・国道２０号　初鹿野（はじかの）防災（甲州市）　他

（４）通学路への歩道設置を推進

児童や歩行者の安全な通行を図ることから、通学路を重点的に歩道設置していきます。

◆主な事業箇所

・国道１３９号　上暮地（かみくれち）歩道設置（富士吉田市）
・国道５２号　箱原（はこばら）歩道設置（鰍沢町）　他

重点項目③　【暮らし】生き生きとした暮らしの実現
～暮らしやすさ、住みやすさの追求～

（1）自転車道の整備を推進

歩行者・自転車・自動車が分離された自転車走行空間を整備します。

◆主な事業箇所

・国道５２号　丸の内周辺地区歩道設置（甲府市）

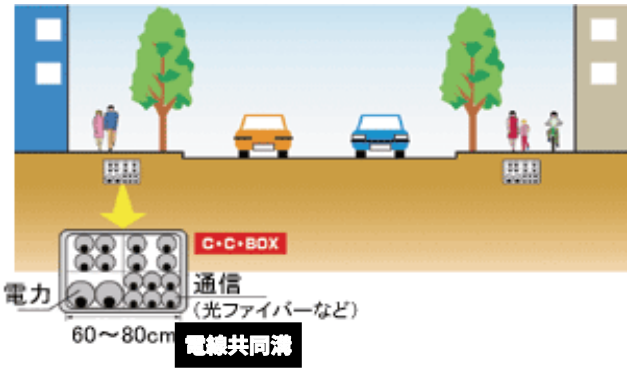
【完成ＣＧ】

（2）電線共同溝の整備の推進

景観や防災性の向上、安全で快適な通行空間の確保と地域再生等を図るため、「無電柱化推進計画」に基づき、無電柱化を引き続き推進します。

◆主な事業箇所

・国道２０号　笛吹甲府電線共同溝（笛吹市・甲府市）　他



【電線共同溝のイメージ】

参考資料(道路)

平成２１年度　道路事業概要

凡例

	一般国道（直轄）
	その他の国道（補助）
	高速自動車道 有料自動車道
	鉄道
	事業箇所

事　業　費　総　括　表

（単位：百万円）

項目	甲府河川国道事務所 (道路事業)
地域連携推進事業費	7,370
道路維持修繕費	2,323
雪寒地域道路事業費	20
沿道環境改善事業費	824
交通安全施設等整備事業費	794
交通事故重点対策事業費	1,591
電線共同溝整備事業費	432
合計	13,354

平成２１年度予算において、揮発油税等の歳入を道路整備に使うことを義務付けている仕組みを廃止することとし、道路特定財源は全額一般財源化されています。

また、特定財源制度を前提とし、社会資本整備事業特別会計に直入されている地方道路整備臨時交付金は廃止されています。

『活　力』
【事業推進】

中部横断自動車道（富沢～六郷）

平成２１年度事業費：５６．０億円

南部町・身延町・市川三郷町

１．事業の必要性及び概要

中部横断自動車道は、静岡県静岡市を起点とし、山梨県甲斐市を経由し長野県佐久市に至る延長１３２ｋｍの高速自動車国道です。本道路は、太平洋及び日本海の臨海地域と山梨・長野県との連携を深め、国道５２号の代替路となる防災に強いネットワークの構築、物流体系の確立や広域的観光ゾーンの開発等、沿線地域の産業経済の振興に寄与することが期待されます。

なお、山梨県区間の(仮称)富沢ＩＣ～(仮称)六郷ＩＣの２８ｋｍについては、平成１７年度より直轄事業として事業を進めています。

○全体計画

事 業 箇 所：山梨県南巨摩郡南部町～山梨県西八代郡市川三郷町
延　　長：Ｌ＝２８ｋｍ
事 業 内 容：調査設計・用地買収・道路改良工事等　一式
全 体 工 期：平成１７年度～

２．平成２１年度の予定

平成２０年度は、調査設計、用地買収を推進するとともに工事に着手しました。

引き続き、平成２１年度は、調査設計、用地買収、改良工事、橋梁工事、トンネル工事を推進する予定です。

３．期待される整備効果

脆弱な幹線道路である国道５２号の代替路を確保します。

また、医療等沿道地域の生活改善や、観光の多様化などへの支援、大規模災害時の緊急輸送路の確保、広域的な物流効率化を支援します。

４．位置図及び概要図

『活　力』
【事業推進】

国道２０号　新山梨環状道路（北部区間）

平成２１年度事業費：３．０億円

甲斐市

１．事業の必要性及び概要

新山梨環状道路（北部区間）は、甲府中心市街地から半径およそ５㎞～７㎞の位置に計画された総延長約４０ｋｍの環状道路の一部をなす道路で、国道２０号のバイパスとして中央自動車道、西関東連絡道路と一体となり、甲府圏域内の朝夕の慢性的な交通渋滞の緩和や、特に渋滞の激しい国道20号や（主）甲府韮崎線の機能回復を図る重要な役割を担っています。

○全体計画

事 業 箇 所：山梨県甲斐市牛句～山梨県甲斐市宇津谷
延　　長：Ｌ＝約５ｋｍ
事 業 内 容：調査設計　一式
全 体 工 期：平成１６年度～

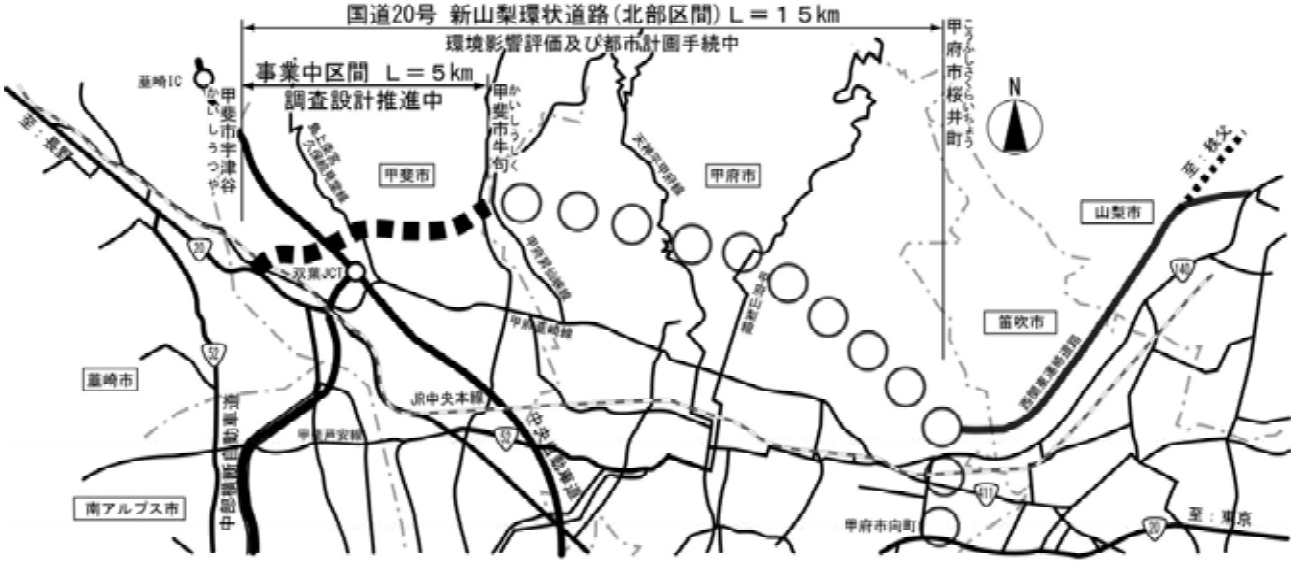
２．平成２１年度の予定

平成２１年度は、平成２０年度に引き続き、環境影響評価の手続きを進めるとともに、都市計画決定に向けた設計を推進します。

３．期待される整備効果

新山梨環状道路（北部区間）が完成することにより、甲府中心市街地の通過交通の排除や流入交通の適切な分散により、国道20号や（主）甲府韮崎線など甲府圏域内の幹線道路の朝夕の慢性的な交通渋滞の緩和が図られます。

４．位置図及び概要図



『活　力』
【事業推進】

国道２０号　大月バイパス

平成２１年度事業費：７．６４億円

大月市

１．事業の必要性及び概要

大月バイパスは、大月市内の市街地の混雑緩和と交通安全の確保を目的とした、大月市駒橋から大月市大月町花咲に至る延長３．２㎞のバイパス整備事業です。

平成１９年度までに大月市駒橋～大月二丁目(国道139号)間の延長１．７ｋｍが暫定形で開通しています。

○全体計画

事 業 箇 所：山梨県大月市駒橋～山梨県大月市大月町花咲
延　　長：Ｌ＝３．２ｋｍ
事 業 内 容：調査設計・用地買収・道路改良工事等　一式
全 体 工 期：昭和４８年度～

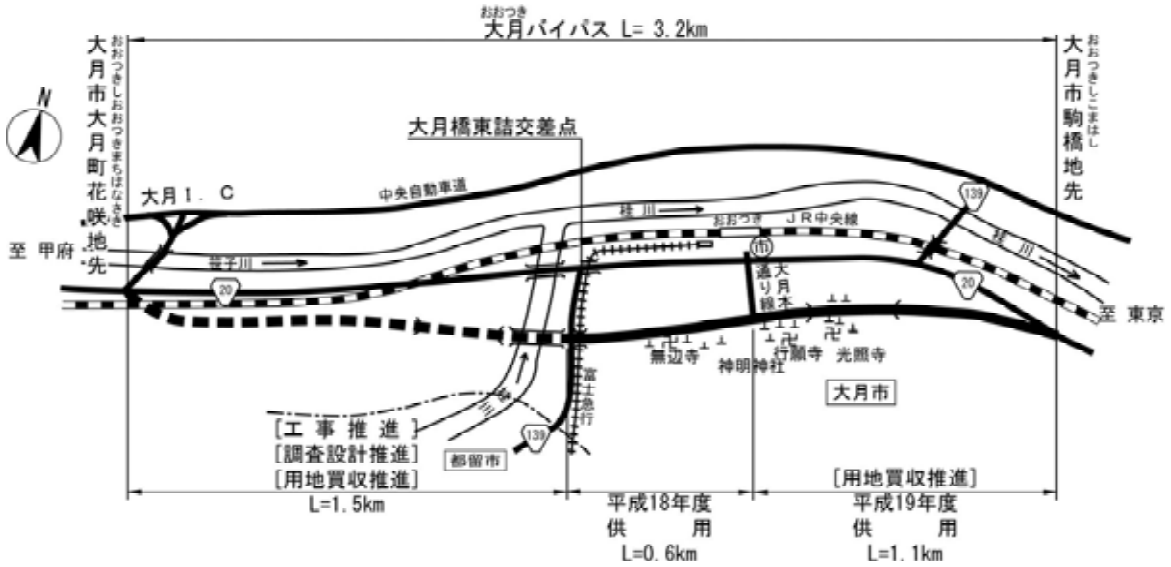
２．平成２１年度の予定

平成２０年度は、橋梁工事、調査設計を推進するとともに、大月二丁目(国道139号)～大月市大月町花咲間で用地買収に着手しました。引き続き、平成２１年度は、改良工事、調査設計、用地買収を推進します。

３．期待される整備効果

大月バイパスが完成することにより、大月市中心部を通過するだけの交通の排除などにより交通渋滞の緩和が図られます。また、すでに開通している大月市駒橋～大月二丁目(国道139号)間では、大月橋東詰交差点における渋滞緩和や現道の走行速度の向上、通学路などの裏道交通量の減少による安全性の向上などの効果が見られます。

４．位置図及び概要図



『活　力』
【事業推進】

国道２０号　竜王拡幅

平成２１年度事業費：４．０億円

甲斐市・韮崎市

１．事業の必要性及び概要

国道２０号竜王拡幅は、甲斐市竜王～韮崎市内にかけての交通安全対策及び交通渋滞緩和を目的とした道路拡幅事業で、平成１７年度に甲斐市下今井～甲斐市宇津谷間の延長１．５ｋｍが開通しました。

また、平成２０年度には、甲斐市竜王地先の延長１．７ｋｍ、甲斐市宇津谷～韮崎市栄二丁目間の延長１．０ｋｍが開通しました。

○全体計画

事 業 箇 所：山梨県甲斐市竜王～山梨県韮崎市栄一丁目
延　　長：Ｌ＝６．７ｋｍ
事 業 内 容：調査設計・用地買収・道路改良工事等　一式
全 体 工 期：平成８年度～

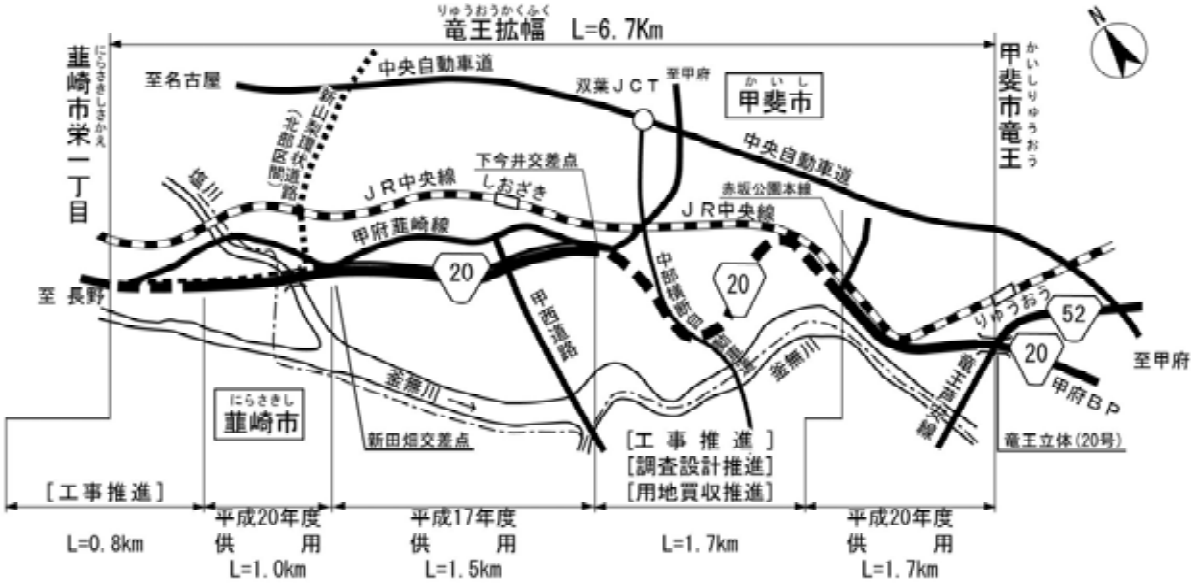
２．平成２１年度の予定

平成２０年度は、改良工事、橋梁工事、舗装工事、調査設計、用地買収を推進し、甲斐市竜王地先の延長１．７ｋｍ及び甲斐市宇津谷～韮崎市栄二丁目間の延長１．０ｋｍが開通しました。引き続き、平成２１年度は、改良工事、舗装工事、調査設計、用地買収を推進します。

３．期待される整備効果

竜王拡幅が完成することにより、車線数増加による国道２０号の朝夕の慢性的な交通渋滞の緩和や歩道設置による交通安全の確保が図られます。

４．位置図及び概要図



『活　力』
【事業推進】

国道５２号　上石田改良

平成２１年度事業費：５．０億円

甲府市

１．事業の必要性及び概要

国道５２号上石田改良は、甲府市街地の交通混雑の緩和、道路線形の改良による交通安全の確保を目的とした、甲府市富竹一丁目から甲府市寿町に至る道路拡幅事業です。

○全体計画

事 業 箇 所：山梨県甲府市富竹一丁目～山梨県甲府市寿　町
延　　長：Ｌ＝１．０ｋｍ
事 業 内 容：調査設計・用地買収・道路改良工事等　一式
全 体 工 期：平成８年度～

２．平成２１年度の予定

平成２０年度は、改良工事、橋梁工事、調査設計、用地買収を推進しました。引き続き、平成２１年度も、改良工事、橋梁工事、調査設計、用地買収を推進します。

３．期待される整備効果

上石田改良が完成することにより、線形の悪い箇所の改善や右折レーンの設置、歩道設置等による交通安全の確保や慢性的な交通渋滞の緩和が図られます。

４．位置図及び概要図

『活　力』
【事業推進】

国道１３９号　都留バイパス

平成２１年度事業費：７．０億円

都留市

１．事業の必要性及び概要

国道１３９号都留バイパスは、都留市内の狭小区間の交通混雑の緩和、交通安全の確保を図る事を目的とした、都留市十日市場から都留市田野倉に至る延長約８．０㎞のバイパス事業です。

平成５年度までに、（主）都留道志線から（県）戸沢谷村線までの延長２．４ｋｍが開通しています。

○全体計画

事 業 箇 所：山梨県都留市十日市場～山梨県都留市田野倉
延　　長：Ｌ＝８．０ｋｍ
事 業 内 容：調査設計・用地買収・道路改良工事等　一式
全 体 工 期：昭和４９年度～

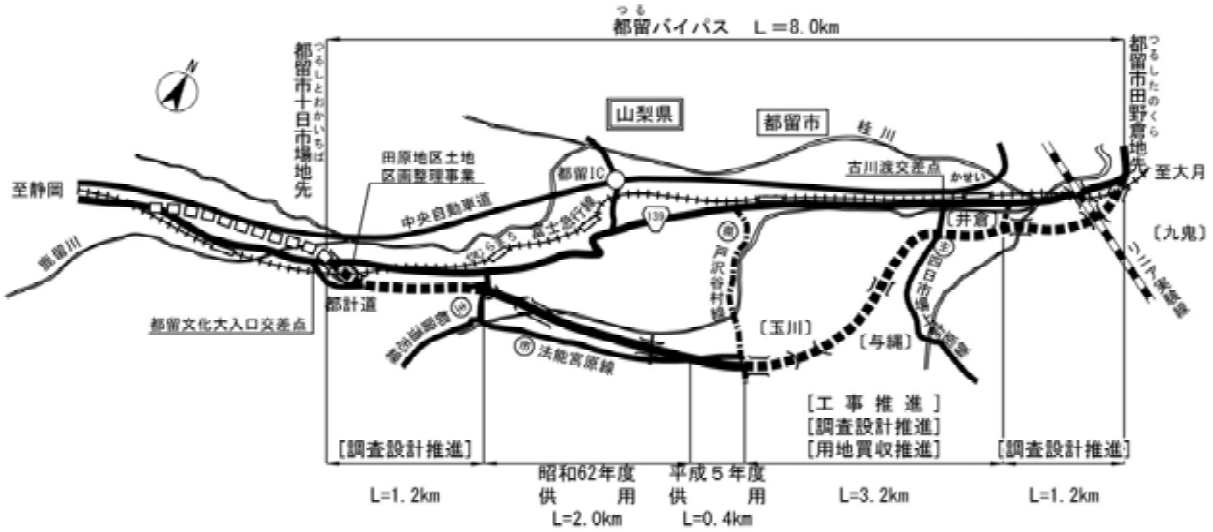
２．平成２１年度の予定

平成２０年度は、改良工事、トンネル工事、橋梁工事、調査設計、用地買収を推進しました。引き続き、平成２１年度は、改良工事、橋梁工事、舗装工事、調査設計、用地買収を推進します。

３．期待される整備効果

都留バイパスが完成することにより、現道の狭小区間の交通渋滞緩和を図り、歩道未設置区間の通行安全性の向上が図られます。

４．位置図及び概要図



『安全』
【新規】

国道５２号　万沢跨道橋耐震補強

平成２１年度事業費：０．７４億円

南部町

１．事業の必要性及び概要

当該箇所は山梨県南巨摩郡南部町万沢地区に位置し、ワンウェイルートの指定路線になっていることから、高い信頼性を確保する必要がある。

○全体計画

事 業 箇 所：山梨県南巨摩郡南部町万沢地先
延　　長：Ｌ＝９４．３ｍ
事 業 内 容：橋脚補強、落橋防止装置設置、伸縮装置取替
全 体 工 期：平成２１年度～

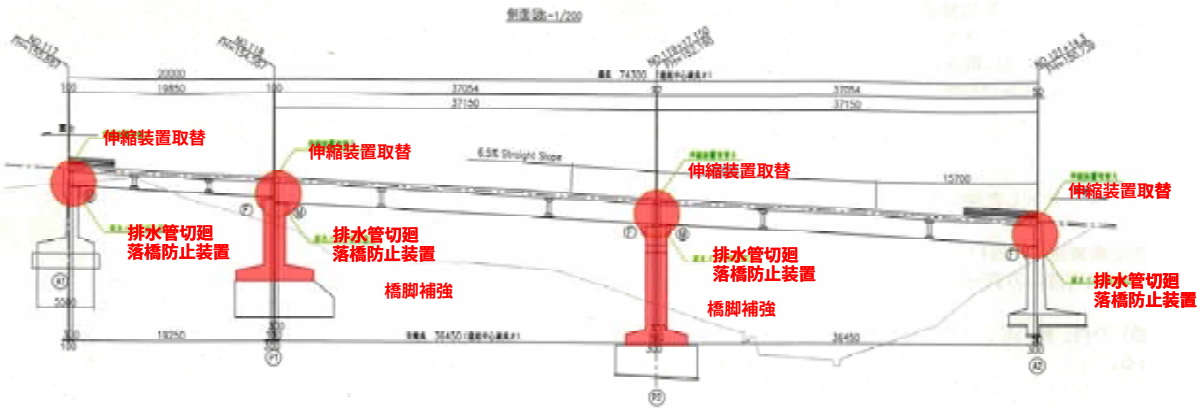
２．平成２１年度の予定

橋脚補強、落橋防止装置設置、伸縮装置取替等

３．期待される整備効果

安全で信頼性の高い道路ネットワークの確保がされます。

４．位置図及び概要図



『暮らし』
【平成21年度完成予定】

国道５２号　丸の内地区自転車道整備事業

平成２１年度事業費：１．１億円

甲府市

１．事業の必要性及び概要

今後の自転車走行に関する「緊急対策の実施」や「計画的な整備の推進」に向けたモデル地区として、国道52号甲府市丸の内地先において、歩行者・自転車・自動車が分離された自転車走行空間を整備します。

○全体計画

事業箇所：山梨県甲府市丸の内

延　　長：Ｌ＝０．４km

事業内容：自転車道設置

全体工期：平成21年度

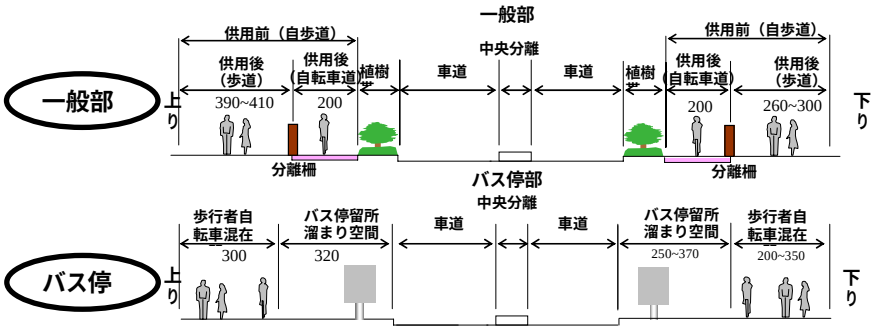
２．平成２１年度の予定

現況の自転車・歩行車道の幅員構成を見直す工事を行います。

３．期待される整備効果

今後の自転車道の通行環境整備の模範となる事業を実施することにより、自転車道の整備促進を図ります。

４．位置図及び概要図



【完成ＣＧ】